

報道機関各位

バンブーエナジー株式会社
中外炉工業株式会社

日本初の竹を利用したバイオマス熱電併給設備の事業開始について

「バンブーエナジー株式会社」(代表取締役:丸本 文紀)は、熊本県玉名郡南関町において地域の未利用資源である竹を活用したバイオマス熱電併給設備の建設を決定し、その設備を「中外炉工業株式会社」(代表取締役:西本 雄二)が受注いたしました。本設備は平成31年1月より稼働する予定です。

本設備は、バンブーマテリアル株式会社(代表取締役:山田 浩之)とバンブーフロンティア株式会社(代表取締役:津留 克也)による竹製建築資材を製造する工場等に隣接して、バンブーエナジー株式会社が取り組む国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の実証事業の設備として建設されます。

バンブーエナジー株式会社は上記2社から発生する建材に適さない竹や残材を燃料利用して、熱と電力を工場等のエネルギー源として供給します。今後、地域の未利用資源である竹を、マテリアルからエネルギーまで余すことなくカスケード利用を行うことで、荒廃竹林の整備や、竹林所有者等から工業製品産出までの新規サプライチェーンにおける雇用創出等の地方創生が期待できる事業を行います。

バイオマス熱電併給設備には中外炉工業のORC方式※1のシステムを採用します。ORC方式は、総合効率が70%以上と非常に優れたものであり、欧州を中心に約300基が普及していますが、日本ではまだ導入実績はありません。中外炉工業では、この分野における欧州のトップメーカーであるオーストリアの「コールバツハ社」より技術協力を受け、日本の法規への適合や竹バイオマスの特性に合わせた総合エンジニアリングを実施します。

また、中外炉工業はバイオマスの熱分解や燃焼技術に関しこれまでも様々な実証を行い、一般的な木質バイオマスのみならず、草本系バイオマス、バーク(樹皮)等林地残材などの未利用バイオマスをエネルギー活用する取り組みを積極的に推進しています。これらの取り組みで得られた各種バイオマス取扱いの技術ノウハウを、竹という新たな地域未利用資源に活かすことで、日本で最初の竹を利用したORC方式バイオマス熱電併給設備の建設に取り組めます。

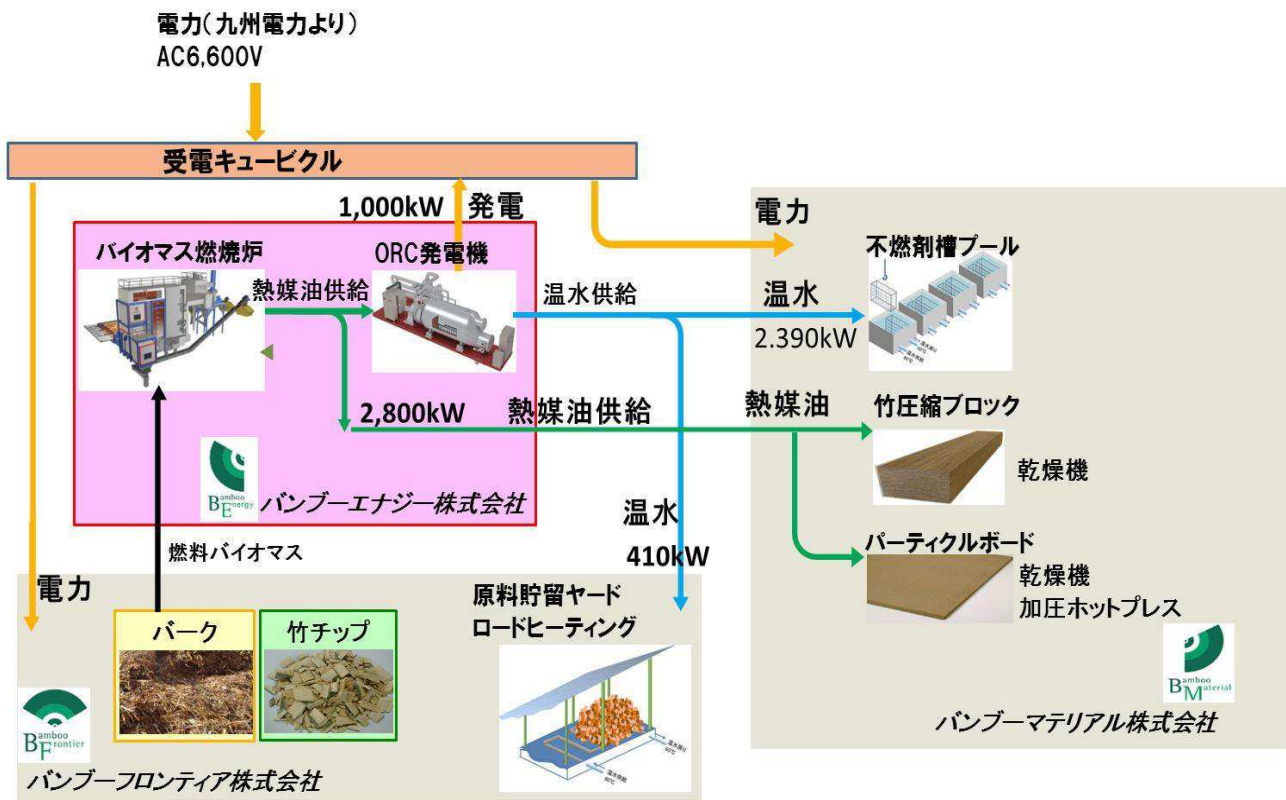
※1 ORC方式:Organic Rankine Cycle の略称。蒸気発電と同じランキンサイクルであるが、蒸気ではなく有機(Organic)熱媒を使用しており、規模の小さな発電設備でも比較的発電効率が高いことが特徴。

事業概要

事業主体	バンブーエナジー株式会社 代表取締役社長 丸本 文紀 (まるもと ふみのり)
設備設計・製作	中外炉工業株式会社 代表取締役社長 西本 雄二 (にしもと ゆうじ)
事業内容	バイオマスによる熱および電力供給
方式	ORCバイオマス熱電併給システム
燃料バイオマス	竹およびバーク等
同 使用量	77トン/日
熱出力	温水 約2,800kW 熱媒油 約2,800kW
発電端出力	約1,000kW
事業開始時期	平成31年1月(実証運転開始:予定)
建設予定地	熊本県玉名郡南関町下坂下(ゆめ竹バレー内)

以上

【本事業の全体概要】



【バンブーエナジー株式会社の概要】

本社所在地：熊本県玉名郡南関町関町1236

代表者：代表取締役社長 丸本 文紀

資本金：3百万円（3月に1.55億円に増資予定）

売上規模：初年度3.1億円、5年間で約25億円（予定）

新規雇用数：10名（予定）

【中外炉工業株式会社の概要】

本社所在地：大阪府大阪市中央区平野町3-6-1

代表者：代表取締役社長 西本 雄二

上場コード：1964（東京証券取引所）

資本金：61億7,672万円

売上規模：327億円（2016年3月期連結）

従業員数：690名（2016年3月期連結）

《本件に関するお問合せ先》

バンブーエナジー株式会社

経営企画室 高田

TEL 06 - 6821 - 2577

中外炉工業株式会社

業務本部 三好、太田

TEL 072 - 247 - 2509